

きく  
お菊さん



むかし きく おんな ひと  
昔、お菊さんという女の人がありました。



きく さむらい いえ はたら  
お菊さんは侍の家で働いていました。

まいにち はたら  
毎日よく働きました。





ひ さむらい だいじ さら まいわ  
でもある日、侍の大事な皿を1枚割ってしまいました。



お菊さんは心からあやまりました。

でも大事な皿でしたから、侍はとても怒りました。



さむらい きく ころ  
侍はお菊さんを殺そうとしました。

きく いど なか お し  
お菊さんは、井戸の中に落ちて死にました。

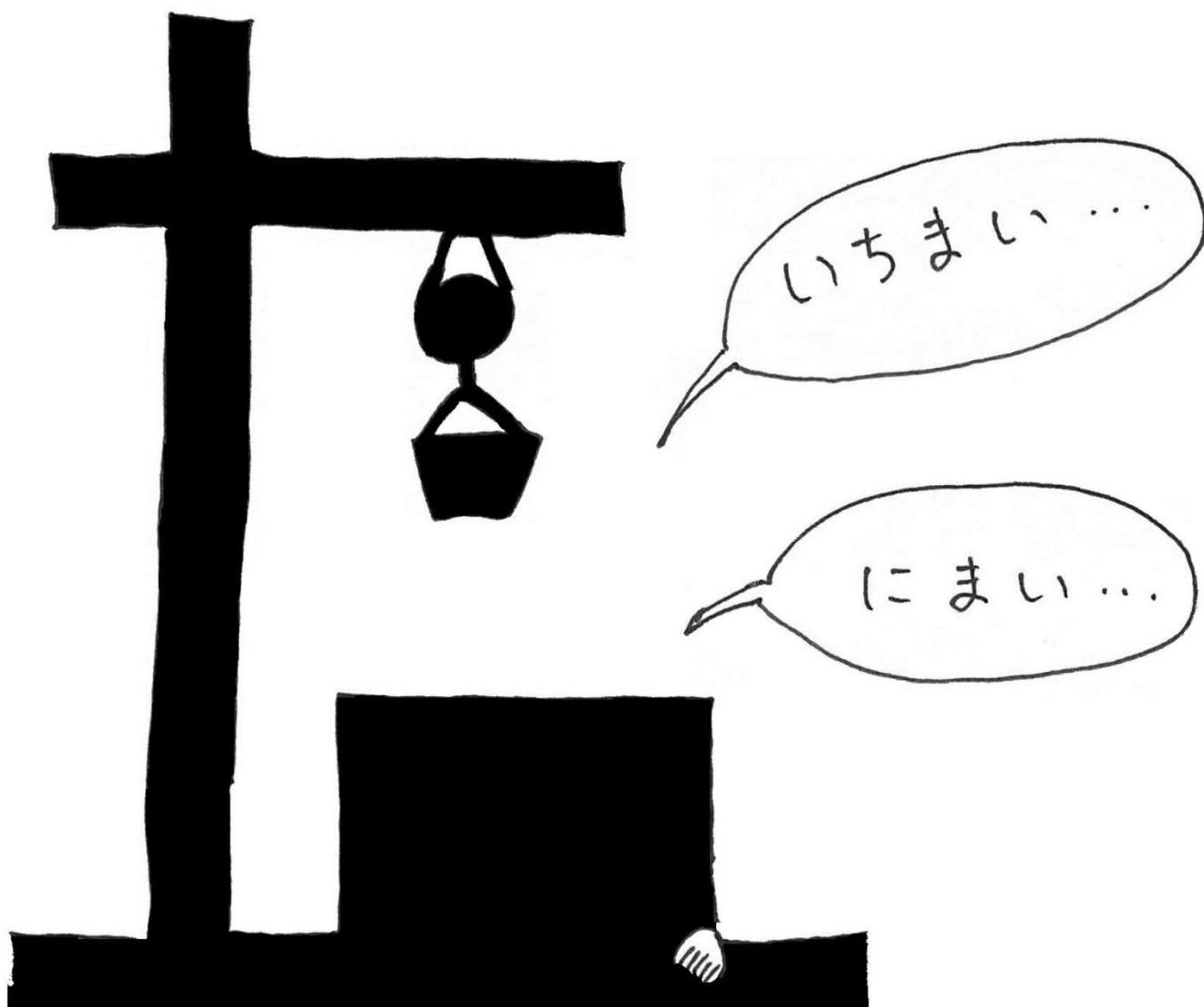


あるひのよる。

いどからこえき  
井戸から声が聞こえます。

まい まい まい まい まい まい まい まい まい  
「1枚、2枚、3枚、4枚、5枚、6枚、7枚、8枚、9枚…

まい  
1枚ありません…」



また、ある<sup>ひ</sup>日の<sup>よる</sup>夜。

井戸<sup>いど</sup>から<sup>こえ</sup>声が聞こえます。

「<sup>まい</sup>1枚、<sup>まい</sup>2枚、<sup>まい</sup>3枚、<sup>まい</sup>4枚、<sup>まい</sup>5枚、<sup>まい</sup>6枚、<sup>まい</sup>7枚、<sup>まい</sup>8枚、<sup>まい</sup>9枚…

<sup>まい</sup>1枚ありません…」

その<sup>こえ</sup>声は<sup>な</sup>泣いています。





お菊<sup>きく</sup>さんは死<sup>し</sup>んで幽霊<sup>ゆうれい</sup>になりました。

そして、今<sup>いま</sup>も毎晩皿<sup>まいばん</sup>を数<sup>かず</sup>えて泣<sup>な</sup>いています。





KC よむよむ No.13

お菊さん

2016年6月6日発行

国際交流基金関西国際センター

監修: KC よむよむ製作委員会

文: 畠中朋子

絵: 田中哲哉

図版:

表紙 葛飾北斎「百物語 さらやしき」

[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/  
2/28/Hokusai\\_Sarayashiki.jpg](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/2/28/Hokusai_Sarayashiki.jpg)

p8 月岡芳年「新形三十六怪撰 皿やしき於菊乃霊」

[https://commons.wikimedia.org/wiki/  
File:Yoshitoshi\\_Ogiku.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Yoshitoshi_Ogiku.jpg)

参考文献:

岡本綺堂『番町皿屋敷』

[http://www.aozora.gr.jp/cards/000082/  
card45617.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000082/<br/>card45617.html)

田中貢太郎『皿屋敷』

[http://www.aozora.gr.jp/cards/000154/  
card4484.html](http://www.aozora.gr.jp/cards/000154/<br/>card4484.html)